

# 第153期報告書

2020年4月1日から  
2021年3月31日まで

## 株主の皆様へ



代表取締役会長兼CEO

大峰 清

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社第153期連結会計年度(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の事業の概況につきまして、ご報告申しあげます。

### (1) 事業の経過および成果

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、社会経済活動が大幅に抑制され、極めて厳しい状況となりました。一方で、政府の大規模な経済対策や世界各国の積極的な政策効果により、期間後半には、鉱工業生産、輸出を中心に持ち直しの動きがみられるようになりました。

このような経済環境の中で、板紙業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気悪化の影響により、生産量は前年を下回りました。

段ボール業界におきましては、巣ごもり需要により食品や通販、宅配向けは堅調に推移したものの、幅広い分野で消費が低迷し、生産量は前年を下回りました。

紙器業界におきましては、食品や薬品の個人向けなどが伸ばしましたが、オフィスやインバウンド需要の減少などにより、生産量は前年並みとなりました。

軟包装業界におきましては、脱プラスチックの動きはあるものの、食品関係を中心とする堅調な需要に支えられ、生産量は前年を上回りました。

重包装業界におきましては、住宅や自動車、鉄鋼関連の需要減退を受けて、生産量は前年を下回りました。

以上のような状況のもとで、レンゴグループは、昨年4月に「レンゴグループ新型コロナウイルス感染症統合対策本部」を設置し、新型コロナウイルス感染症拡大という戦後最大の難局

下にあって、働く者の安全と健康を確保し、社会の一員として感染拡大防止に最大限努めるとともに、生活必需品を消費者にお届けするサポーティングインダストリーとしての供給責任を果たしてまいりました。あわせて、製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心に、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPIレンゴとして、営業力の強化、積極的な設備投資やM&A等を通じ、業容拡大と収益力向上に鋭意取り組んでまいりました。

昨年6月、プラスチックのバリューチェーンを構成する業界を超えた11社と共同で、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む共同出資会社、株式会社アールプラスジャパン(東京都港区)を設立し事業を開始しました。10月、軟包装事業のさらなる拡充を図るため、サン・トックス株式会社(東京都台東区)の株式を追加取得し子会社化したほか、本年3月、株式会社金羊社(東京都大田区)の株式を取得して子会社化しメディアパッケージ分野にも事業展開しました。また同月には、段ボール製品供給体制の充実を図るため、関東地区においてはレンゴ・トッパンコンテナ株式会社(埼玉県川口市)を完全子会社化(新社名:RGコンテナ株式会社)し、四国地区では株式会社サンコーが徳島県阿波市に新本社工場を竣工しました。さらに、製紙および重包装事業の原材料であるクラフトパルプ、クラフト紙の製造事業に進出しサプライチェーンの川上の付加価値を取り込むことを目的として、会社更生手続中の大興製紙株式会社(静岡県富士市)の事業再生支援に関する合意書を同社と締結しました。

海外におきましては、昨年10月、SCGパッケージング社(タイ)の子会社でフィリピンにおける段ボール原紙の製造・販売会社であるユナイテッド・パルプ・アンド・ペーパー社に資本参加し、同国での段ボール原紙事業に参入しました。また同月、トライウォール社(香港)がメキシコの重量物包装資材の製造・販売会社を子会社化し、同国において重量物包装事業の拡大を図りました。さらに、12月には、タイ・コンテナーズ・グループ社がベトナムの段ボール・紙器メーカーを子会社化し、同国における生産拠点を拡充しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は680,714百万円(前期比99.6%)、営業利益は39,938百万円(同96.9%)、経常利益は43,200百万円(同100.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益は28,599百万円(同102.9%)となりました。

当連結会計年度におけるセグメントの概況は、次のとおりであります。



### 【板紙・紙加工関連事業】

板紙・紙加工関連事業につきましては、食品や通販・宅配向けなどの需要に底堅さはみられるものの、景気悪化の影響により減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は432,711百万円(同96.2%)、営業利益は28,380百万円(同93.9%)となりました。

主要製品の生産量は、次のとおりであります。  
(板紙製品)

板紙製品につきましては、景気悪化の影響により、生産量は2,412kt(同96.9%)となりました。

(段ボール製品)

段ボール製品につきましては、消費の低迷はありましたが、生産量は段ボール4,235百万㎡(同98.9%)、段ボール箱3,489百万㎡(同100.0%)となりました。

### 【軟包装関連事業】

軟包装関連事業につきましては、連結子社が増加したことに加え、食品向け需要が増加したことなどにより、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は83,303百万円(同109.7%)、営業利益は3,977百万円(同114.9%)となりました。

### 【重包装関連事業】

重包装関連事業につきましては、連結子社が増加したことや固定費の削減により、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は43,280百万円(同101.3%)、営業利益は2,085百万円(同131.7%)となりました。

### 【海外関連事業】

海外関連事業につきましては、連結子社が増加したことにより増収となりましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気低迷の影響を受け、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は87,849百万円(同109.2%)、営業利益は3,328百万円(同99.3%)となりました。

### 【その他の事業】

その他の事業につきましては、貨物量減少に伴う運送事業の採算悪化等により、減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は33,568百万円(同96.0%)、営業利益は2,022百万円(同83.0%)となりました。

当連結会計年度におけるその他の概況は、次のとおりであります。

〈CSR(企業の社会的責任:Corporate Social Responsibility)〉

レンゴグループは、板紙・段ボール業界のリーディングカンパニーとして、CSR委員会のもとに設置された5つの委員会(倫理・環境・安全衛生・CS(顧客満足)・広報)を中心に、全てのステークホルダーの皆様の信頼に応えられる企業集団を目指し、コンプライアンスのさらなる徹底と企業価値の向上を図るための活動を積極的に推進してまいりました。

### (2)設備投資の状況

当連結会計年度につきましては、板紙・紙加工関連事業を中心に総額47,143百万円の設備投資を実施いたしました。

### (3)資金調達の状況

当連結会計年度につきましては、自己資金および借入金で賄い、払込増資、社債の発行等による資金調達は行っておりません。

### (4)対処すべき課題

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により依然として厳しい状況にありますが、ワクチン接種をはじめとする感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、政府や世界各国の各種政策効果も相まって、持ち直しの動きが続いていくものと思われまます。

こうした状況の中、レンゴグループは、昨年4月、「パッケージプロバイダー」として世界でベストワンの総合包装企業集団を目指して、創業115周年を迎える2024年度を最終年度とする中期ビジョン「Vision115」の達成に向け、新経営体制のもと、新たな一歩を踏み出しました。

全てのコア事業がヘキサゴン経営の一角にふさわしい規模と収益性を確立するとともに、GPIレンゴの持続的な発展のために、さらなるガバナンスの強化と収益の拡大を図ってまいります。

また、「コロナ時代の新たな日常」の中で、DX(デジタル・トランスフォーメーション)にも積極的に取り組み、引き続き感染拡大防止に最大限努めるとともに、国際的な統一目標であるSDGs(持続可能な開発目標)を見据え、事業活動を通じて企業の社会的責任を果たしてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# トピックス

## GP Iレンゴグループの事業基盤を強化 グループ企業の動き

### 株式会社金羊社の子会社化

本年3月、株式会社金羊社を子会社化しました。メディアパッケージ分野における事業展開を推進するとともに、軟包装およびSP事業の一層の拡充を図ってまいります。



株式会社金羊社本社

#### 会社概要

本社所在地 東京都大田区鶴の木 2-8-4  
工場 御殿場工場 宇都宮工場 大口工場  
代表者 代表取締役社長 浅野 健  
資本金 100百万円  
売上高 6,258百万円 (2021年3月期)  
従業員数 283名

### 株式会社サンコー新本社工場竣工

本年3月、株式会社サンコーは、徳島県阿波市に新本社工場を建設し、竣工しました。四国地区における当社グループ段ボール製品供給体制のさらなる充実を図ってまいります。



株式会社サンコー新本社工場

#### 会社概要

本社所在地 徳島県阿波市阿波町西長峰 2-13 (西長峰工業団地)  
代表者 代表取締役社長 兼田 哲邦  
資本金 65百万円  
売上高 1,745百万円 (2021年3月期)  
従業員数 55名

### 大興製紙株式会社の事業再生支援に関する合意書の締結

本年3月、会社更生手続き中の大興製紙株式会社の事業再生支援に関する合意書を締結しました。裁判所による更生計画認可決定を条件として、本年9月の完全子会社化を目指します。本件子会社化により、当社グループの製紙および重包装事業の原材料であるクラフトパルプ、クラフト紙の製造事業への進出を果たすと同時に、当社グループの一員として製造・販売の両面から支援することにより、同社の経営再建と業容拡大を図ってまいります。



大興製紙株式会社

#### 会社概要

本社所在地 静岡県富士市上横割10  
管財人 綾 克己、等 健次  
資本金 100百万円  
売上高 12,000百万円  
(2020年3月期)  
従業員数 210名



## その他の主な動き

### ●国内

- 2020年10月 サン・トックス株式会社を子会社化
- 2021年 1月 樽谷包装産業株式会社と  
タルタニパック株式会社の合併
- 2021年 2月 セッツカートン株式会社と  
共栄ダンボール株式会社の再編
- 2021年 3月 山陽自動車運送株式会社広島支店リニューアル竣工
- 2021年 3月 RGコンテナ株式会社を完全子会社化



RGコンテナ株式会社埼玉工場

### ●海外

- 2020年10月 フィリピンにおける段ボール原紙の製造・販売会社  
ユナイテッド・パルプ・アンド・ペーパー社に資本  
参加
- 2020年10月 トライウォール社がメキシコにおける重量物包装  
資材メーカーのティム・メキシコ社を子会社化
- 2020年12月 タイ・コンテナーズ・グループ社がベトナムにおけ  
る段ボール・紙器メーカーのビエンホア・パッケー  
ジング社の株式取得



ビエンホア・パッケージング社

## 新型コロナウイルス感染症統合対策本部の設置

昨年4月、新型コロナウイルス感染症拡大という戦後最大の難局下にあって、働く者の安全と健康を確保し、社会の一員として感染拡大防止に最大限努めるとともに、生活必需品を消費者にお届けするサポーティングインダストリーとしての供給責任を果たすため、「レンゴグループ新型コロナウイルス感染症統合対策本部」を設置しました。

当社グループは、引き続き、感染症拡大防止に最大限努めるとともに、事業活動を通じて企業の社会的責任を果たしてまいります。

# トピックス

## 脱プラスチックに向けた取組み

### 「REBIOS™ (レビオス)」を開発

昨年11月、武生工場で生産するセロファンや紙をベースにしたパッケージング材料の新シリーズ「REBIOS」を開発しました。

「REBIOS」は、バイオマス由来のセロファンや紙を最大限に活用することにより、高いバイオマス度と生分解性を有します。また、生分解性樹脂との複合によりヒートシール性や防湿性も付与され、食品、日用品、衣類、衛生材料などのパッケージとして、幅広く使用されることが期待されます。



### ビスコパール®、セロファンの海洋生分解の認証「OK biodegradable MARINE」取得

昨年12月、ビスコパールが、また、本年4月にセロファンが、土中に比べ微生物が少ない海水中での生分解性を証明する国際認証である「OK biodegradable MARINE」認証を取得しました。

ビスコパールは、海に流出する可能性のあるプラスチックビーズを代替することで、海洋マイクロプラスチックゴミの低減に、またセロファンは、プラスチックゴミ問題の解決への貢献が期待されます。



### 株式会社アールプラスジャパン設立に参加

昨年6月、業界を超えた12社の共同出資による株式会社アールプラスジャパン設立に参画しました。

同社は、米国バイオ化学ベンチャー企業・アネロテック社の技術を活用し、環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進め、世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料メーカーなど業界を超えた連携により、2027年の実用化を目指しています。





## パッケージング・イノベーションに関する動き

### 世界包装機構「ワールドスター賞」を4点が受賞

本年1月、世界包装機構主催の「ワールドスターコンテスト2021」において、当社関連の作品4点がワールドスター賞を受賞しました。

- 白鶴 浮世絵ラベルシリーズ  
白鶴酒造株式会社様との共同開発品



- 味の素 圧カスチーム  
クッキング調味料  
味の素株式会社様との共同開発品



- JA全農やまなし 直売所配送用ケース  
全国農業協同組合連合会  
山梨県本部様との共同開発品



- スターバックス® コーヒートラベラー  
配送用ケース  
スターバックス コーヒー ジャパン  
株式会社様との共同開発品



### 日本包装技術協会木下賞「包装技術賞」を受賞

昨年10月、公益社団法人日本包装技術協会主催「第44回木下賞」において、『レンゴー スマート・ディスプレイ・パッケージング (RSDP)』の開発で「包装技術賞」を受賞しました。



### 「女性の活躍推進に関する行動計画」を策定

本年3月、2021年度から2025年度の「女性の活躍推進に関する行動計画」を策定しました。個々の能力を最大限に発揮できる環境整備を進めるとともに、女性のさらなる意欲・能力の向上を図ってまいります。

#### <行動計画に掲げた目標>

- ① 総合職女性採用比率を3割以上とする
- ② 業務職女性採用比率を2割以上とする
- ③ 女性管理職数を1.5倍以上とする
- ④ 男性の育児休業取得率を8割以上とする

### レンゴグループの中長期の環境目標を策定

本年4月、環境に関する中長期目標として、2050年に向けた「レンゴグループ環境アクション2050」および2030年度までの「エコチャレンジ2030」を策定するとともに、「レンゴグループ環境憲章」を改定しました。

レンゴグループは、事業活動における環境負荷のさらなる低減および環境に配慮した製品の供給を通して、引き続き持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (2021年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
<b>(資産の部)</b>	<b>869,992</b>	<b>820,109</b>
<b>流動資産</b>	<b>308,976</b>	<b>289,727</b>
現金及び預金	52,380	40,014
受取手形及び売掛金	197,190	192,230
商品及び製品	25,858	25,373
仕掛品	3,773	3,583
原材料及び貯蔵品	22,176	21,003
その他	8,251	8,189
貸倒引当金	△654	△667
<b>固定資産</b>	<b>561,016</b>	<b>530,381</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>367,094</b>	<b>350,584</b>
建物及び構築物	106,240	99,286
機械装置及び運搬具	119,154	112,940
土地	118,608	116,926
建設仮勘定	8,750	7,444
その他	14,340	13,986
<b>無形固定資産</b>	<b>35,274</b>	<b>38,425</b>
のれん	19,157	21,273
その他	16,117	17,151
<b>投資その他の資産</b>	<b>158,646</b>	<b>141,372</b>
投資有価証券	136,172	120,113
長期貸付金	406	535
退職給付に係る資産	3,159	2,183
繰延税金資産	1,946	1,779
その他	17,968	17,840
貸倒引当金	△1,006	△1,081
<b>資産合計</b>	<b>869,992</b>	<b>820,109</b>

科目	当 期	前 期
<b>(負債の部)</b>	<b>545,529</b>	<b>531,289</b>
<b>流動負債</b>	<b>294,747</b>	<b>292,769</b>
支払手形及び買掛金	112,897	110,888
短期借入金	104,586	111,033
1年内償還予定の社債	10,030	5,080
未払費用	26,748	24,778
未払法人税等	7,483	9,501
役員賞与引当金	252	259
関係会社整理損失引当金	470	70
その他	32,277	31,158
<b>固定負債</b>	<b>250,782</b>	<b>238,519</b>
社債	65,030	75,060
長期借入金	141,294	122,603
繰延税金負債	22,421	16,942
役員退職慰労引当金	635	986
役員株式給付引当金	208	—
退職給付に係る負債	11,578	13,823
その他	9,614	9,104
<b>(純資産の部)</b>	<b>324,463</b>	<b>288,820</b>
<b>株主資本</b>	<b>268,443</b>	<b>245,694</b>
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	33,731	33,388
利益剰余金	215,899	193,183
自己株式	△12,253	△11,945
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>44,883</b>	<b>32,560</b>
その他有価証券評価差額金	35,787	23,655
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	5,394	7,887
退職給付に係る調整累計額	3,701	1,017
<b>非支配株主持分</b>	<b>11,136</b>	<b>10,565</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>869,992</b>	<b>820,109</b>


**連結損益計算書** (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
売上高	680,714	683,780
売上原価	547,432	551,318
<b>売上総利益</b>	<b>133,281</b>	<b>132,461</b>
販売費及び一般管理費	93,342	91,233
<b>営業利益</b>	<b>39,938</b>	<b>41,227</b>
営業外収益	7,162	6,320
営業外費用	3,900	4,349
<b>経常利益</b>	<b>43,200</b>	<b>43,199</b>
特別利益	1,189	2,229
特別損失	3,185	4,338
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>41,204</b>	<b>41,090</b>
法人税、住民税及び事業税	12,672	13,128
法人税等調整額	△695	△380
<b>当期純利益</b>	<b>29,228</b>	<b>28,341</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	628	551
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>28,599</b>	<b>27,790</b>

**連結キャッシュ・フロー計算書** (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>66,000</b>	<b>61,079</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△46,007</b>	<b>△78,267</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△7,293</b>	<b>24,280</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△202</b>	<b>625</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>12,497</b>	<b>7,717</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>37,528</b>	<b>29,604</b>
<b>VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>—</b>	<b>206</b>
<b>VIII 非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>74</b>	<b>—</b>
<b>IX 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>50,099</b>	<b>37,528</b>

# 連結財務諸表

連結株主資本等変動計算書 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当 期 首 残 高	31,066	33,388	193,183	△11,945	245,694
当 期 変 動 額					
剰余金の配当			△5,953		△5,953
親会社株主に帰属する 当期純利益			28,599		28,599
自己株式の取得				△812	△812
自己株式の処分		305		503	809
その他		36	69		106
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	342	22,715	△308	22,749
当 期 末 残 高	31,066	33,731	215,899	△12,253	268,443

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当 期 首 残 高	23,655	0	7,887	1,017	32,560	10,565	288,820
当 期 変 動 額							
剰余金の配当							△5,953
親会社株主に帰属する 当期純利益							28,599
自己株式の取得							△812
自己株式の処分							809
その他							106
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	12,132	0	△2,493	2,683	12,322	570	12,893
当期変動額合計	12,132	0	△2,493	2,683	12,322	570	35,643
当 期 末 残 高	35,787	0	5,394	3,701	44,883	11,136	324,463

# 単体財務諸表

The General Packaging Industry RENGO



貸借対照表 (2021年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科目	当期	前期
<b>(資産の部)</b>	<b>560,214</b>	<b>530,269</b>
<b>流動資産</b>	<b>156,127</b>	<b>150,386</b>
現金及び預金	17,655	12,051
受取手形及び売掛金	103,481	101,701
商品及び製品	10,259	10,527
仕掛品	153	163
原材料及び貯蔵品	8,873	8,966
その他	15,707	16,980
貸倒引当金	△3	△4
<b>固定資産</b>	<b>404,087</b>	<b>379,883</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>154,653</b>	<b>151,020</b>
建物	29,628	29,385
機械装置	50,467	49,578
土地	62,835	62,173
その他	11,722	9,882
<b>無形固定資産</b>	<b>2,575</b>	<b>2,183</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>246,857</b>	<b>226,678</b>
投資有価証券	75,170	62,443
関係会社株式	145,182	135,821
関係会社出資金	19,946	20,025
関係会社長期貸付金	3,955	5,762
その他	3,063	3,095
貸倒引当金	△462	△469
<b>資産合計</b>	<b>560,214</b>	<b>530,269</b>

科目	当期	前期
<b>(負債の部)</b>	<b>385,778</b>	<b>375,767</b>
<b>流動負債</b>	<b>177,792</b>	<b>184,013</b>
買掛金	53,328	53,268
短期借入金	68,731	78,433
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
設備関係未払金	10,482	7,745
未払費用	17,897	16,572
未払法人税等	3,271	5,215
役員賞与引当金	93	110
関係会社整理損失引当金	470	70
その他	13,518	17,597
<b>固定負債</b>	<b>207,986</b>	<b>191,753</b>
社債	65,000	75,000
長期借入金	122,687	100,678
繰延税金負債	7,978	4,226
退職給付引当金	9,731	9,142
役員株式給付引当金	208	—
関係会社事業損失引当金	994	976
その他	1,386	1,730
<b>(純資産の部)</b>	<b>174,435</b>	<b>154,501</b>
<b>株主資本</b>	<b>146,614</b>	<b>136,196</b>
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	34,303	33,997
利益剰余金	93,497	83,076
自己株式	△12,253	△11,945
<b>評価・換算差額等</b>	<b>27,821</b>	<b>18,305</b>
その他有価証券評価差額金	27,821	18,305
<b>負債純資産合計</b>	<b>560,214</b>	<b>530,269</b>

# 単体財務諸表

損益計算書 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
売 上 高	321,280	331,080
売 上 原 価	256,601	264,323
<b>売 上 総 利 益</b>	<b>64,678</b>	<b>66,756</b>
販売費及び一般管理費	46,202	47,058
<b>営 業 利 益</b>	<b>18,475</b>	<b>19,698</b>
<b>営 業 外 収 益</b>	<b>7,207</b>	<b>6,781</b>
受取利息及び配当金	5,310	4,980
そ の 他	1,896	1,800
<b>営 業 外 費 用</b>	<b>3,090</b>	<b>3,539</b>
支 払 利 息	1,020	1,013
そ の 他	2,069	2,526
<b>経 常 利 益</b>	<b>22,593</b>	<b>22,940</b>
特 別 利 益	1,047	1,152
特 別 損 失	1,786	2,494
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>	<b>21,854</b>	<b>21,597</b>
法人税、住民税及び事業税	5,884	6,395
法 人 税 等 調 整 額	△404	△188
<b>当 期 純 利 益</b>	<b>16,374</b>	<b>15,390</b>

# 会社の概要

The General Packaging Industry RENGO



## 会社の概要 (2021年3月31日現在)

商号	レンゴ株式会社
英文社名	Rengo Co., Ltd.
設立年月日	1920年(大正9年)5月2日 (創業 1909年(明治42年)4月)
資本金	310億6,675万円
上場証券取引所	東京
従業員数	4,132名
主要な事業内容	①段ボール、段ボール箱、 紙器その他紙加工品、 軟包装の製造、販売 ②板紙(段ボール原紙、白板紙等)の 製造、販売
主要な事業所	
本店	大阪市福島区大開四丁目1番186号
本社事務所	大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー
東京本社	東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス
段ボール工場	26工場
紙器工場	3工場
製紙工場	4工場
セロファン工場	1工場
研究所	1研究所

## 役員 (2021年6月29日現在)

*取締役 会長 兼 CEO	大坪	清
*取締役 社長 兼 COO	川本	洋祐
*取締役 兼 副社長執行役員	前田	盛明
取締役 兼 副社長執行役員	馬場	泰博
取締役 兼 副社長執行役員	石田	重親
取締役 兼 副社長執行役員	長谷川	一郎
取締役 兼 副社長執行役員	佐藤	義雄
取締役 兼 副社長執行役員	奥井	正之
取締役 兼 副社長執行役員	坂井	信也
取締役 兼 副社長執行役員	玉岡	かおる
取締役 兼 副社長執行役員	橋本	つとむ
取締役 兼 副社長執行役員	正井	淳蔵
取締役 兼 副社長執行役員	辻本	健二
取締役 兼 副社長執行役員	常陰	均
取締役 兼 副社長執行役員	三部	廣美
取締役 兼 副社長執行役員	海老原	貞登
取締役 兼 副社長執行役員	井上	博史
取締役 兼 副社長執行役員	堀野	幸男
取締役 兼 副社長執行役員	岡野	脇裕
取締役 兼 副社長執行役員	樋中	嶋雅
取締役 兼 副社長執行役員	本松	裕次
取締役 兼 副社長執行役員	尾崎	光典
取締役 兼 副社長執行役員	森塚	村伸
取締役 兼 副社長執行役員	吉村	成俊
取締役 兼 副社長執行役員	結田	康弘
取締役 兼 副社長執行役員	柴崎	仁誠
取締役 兼 副社長執行役員	飯田	純
取締役 兼 副社長執行役員	西村	美寛
取締役 兼 副社長執行役員	井本	寛二
取締役 兼 副社長執行役員	古田	彦拓
取締役 兼 副社長執行役員	望月	諭

- (注) 1. \*印は、代表取締役です。  
2. 取締役 佐藤義雄、奥正之、坂井信也、玉岡かおるの各氏は、社外取締役であります。  
3. 監査役 石井淳蔵、辻本健二、常陰均の各氏は、社外監査役であります。

# 会社の概要

## 株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行済株式の総数 271,056,029株

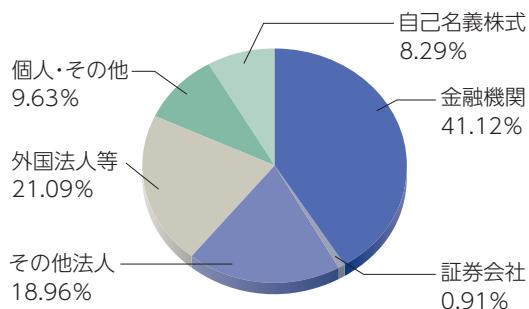
株主数 23,041名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	25,966	10.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	19,865	7.9
株式会社三井住友銀行	9,562	3.8
住友生命保険相互会社	6,808	2.7
農林中央金庫	5,965	2.4
住友商事株式会社	4,000	1.6
レンゴー社員持株会	3,773	1.5
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,625	1.4
株式会社ヤクルト本社	3,326	1.3
三井住友海上火災保険株式会社	3,305	1.3

(注) 1. 当社は自己株式を22,481千株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別分布状況



	株数(千株)	比率(%)
金融機関	111,459	41.12
証券会社	2,453	0.91
その他法人	51,397	18.96
外国法人等	57,162	21.09
個人・その他	26,101	9.63
自己名義株式	22,481	8.29



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告の方法	その他必要のある場合は、あらかじめ公告して定めた日 当社のホームページに掲載する。 <a href="https://www.rengo.co.jp/">https://www.rengo.co.jp/</a>
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 土日休日を除く)
ホームページ	<a href="https://www.smbj.jp/personal/agency/index.html">https://www.smbj.jp/personal/agency/index.html</a>
単元株式数	100株
証券コード	3941

## 株式のお手続きに関するお問い合わせ先について

お問い合わせの内容	証券会社等の口座に記録された株式 (一般口座)	特別口座に記録された株式
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住所、氏名等の変更</li> <li>・単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>・配当金の振込指定</li> <li>・相続</li> </ul>	お取引の証券会社等	三井住友信託銀行
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般口座への振替</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支払期間経過後の配当金に関するお問い合わせ</li> </ul>	三井住友信託銀行	



本社事務所 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー  
東京本社 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス

<https://www.rengo.co.jp/>